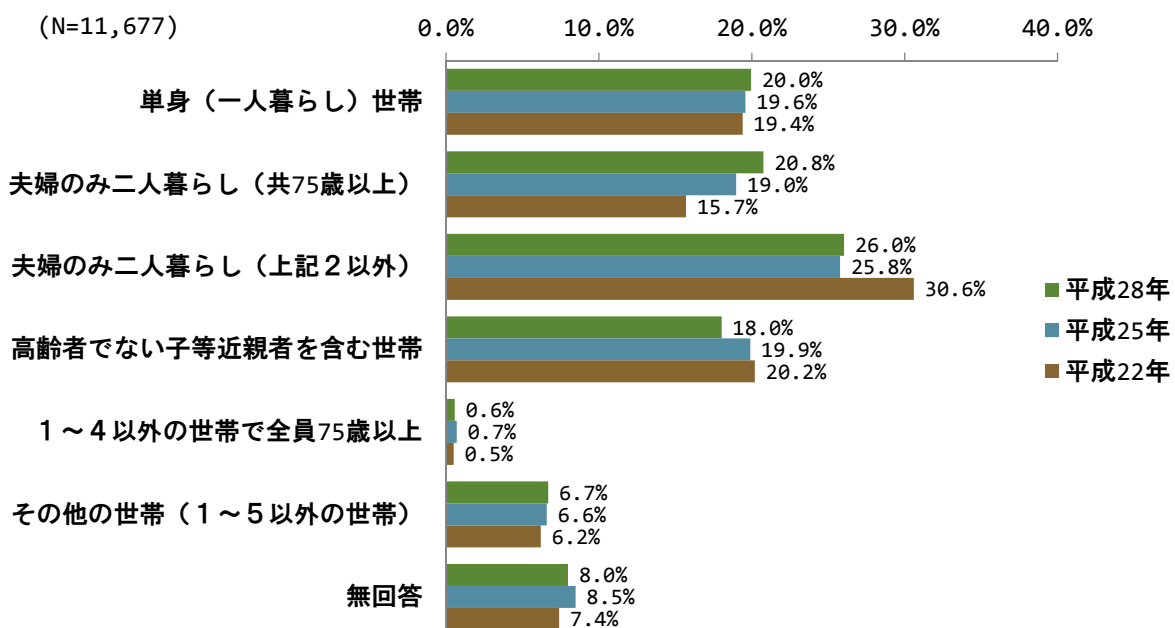


# 第7期神戸市介護保険事業計画策定に 向けての実態調査結果(概要)

## 健康とくらしの調査 (高齢者一般調査)

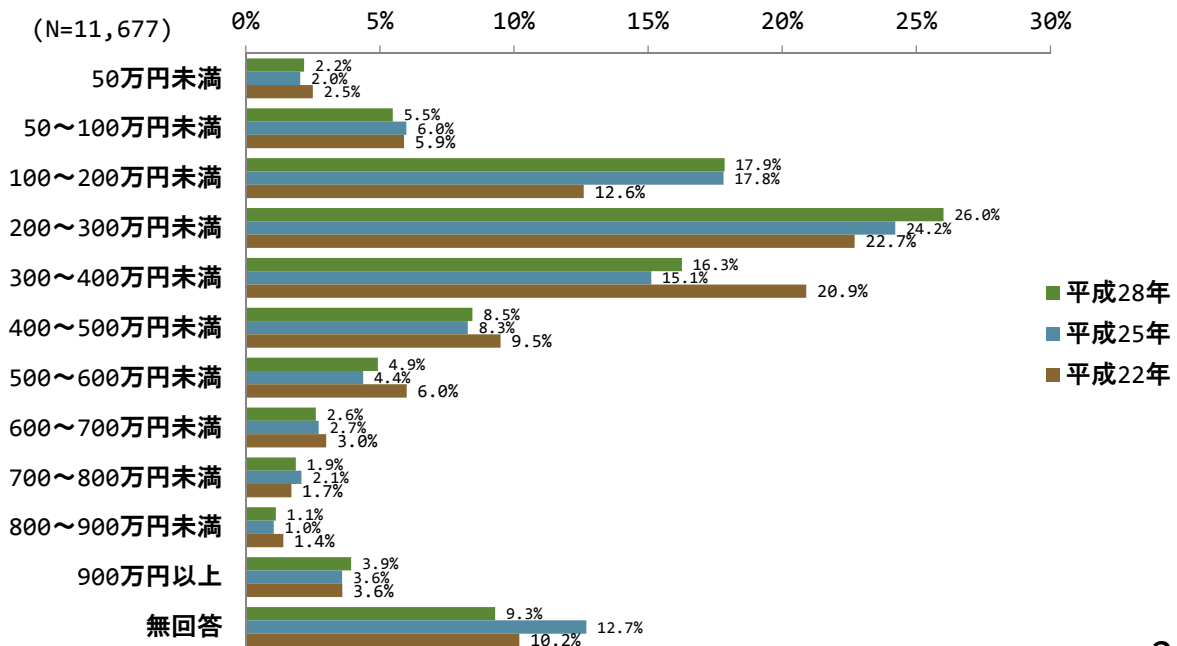
### 家族構成

単身(一人暮らし)世帯が20.0%(19.6%)、ともに75歳以上の夫婦のみ二人暮らし世帯が20.8%(19.0%)となっており、前回調査と比較して、両世帯とも増加してきている。



# 世帯の収入

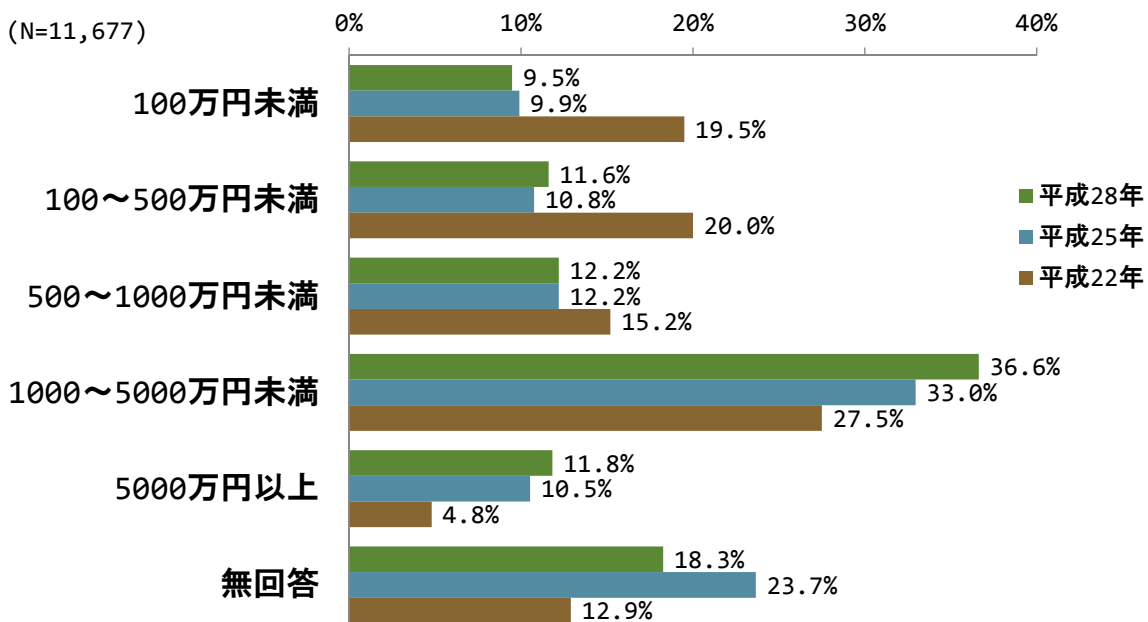
世帯の収入は、「200～300万円未満」の世帯が26.0%と最も多く、次いで「100～200万円未満」17.9%、「300～400万円未満」16.3%が多くなっている。前回調査との比較では、「200～300万円未満」が1.8ポイント、「300～400万円未満」が1.2ポイント増加している。



2

# 世帯の資産

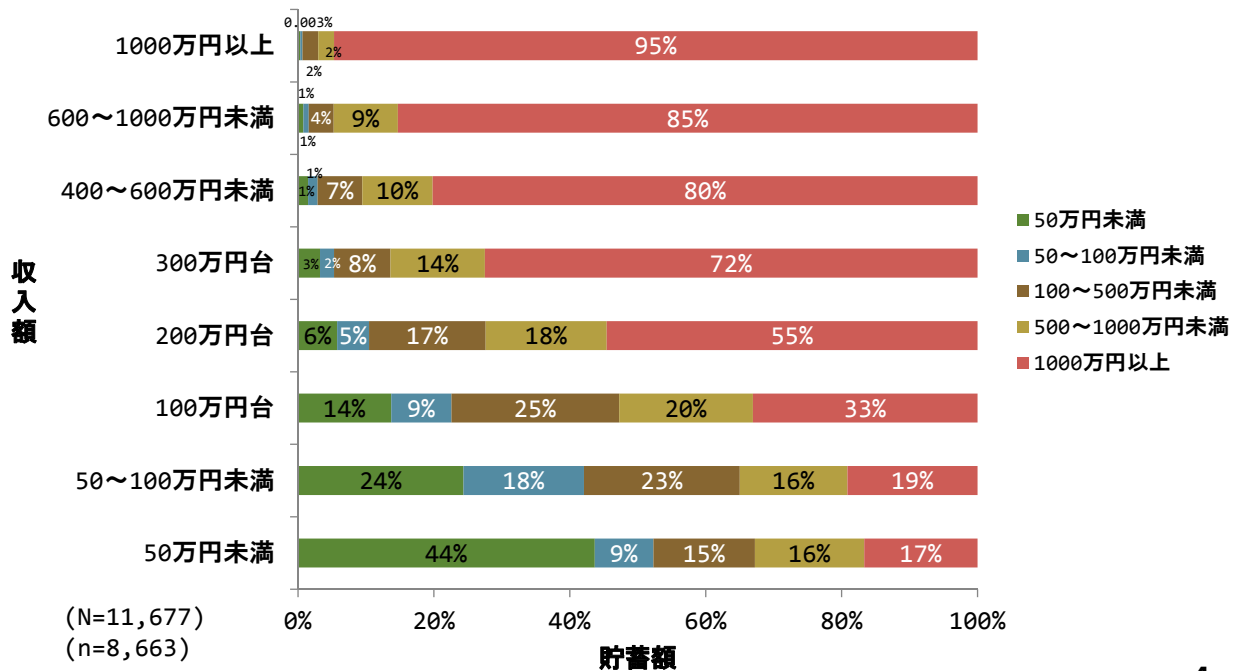
前回調査との比較では、1000万円以上の世帯が増加している。



3

# 収入／貯蓄額

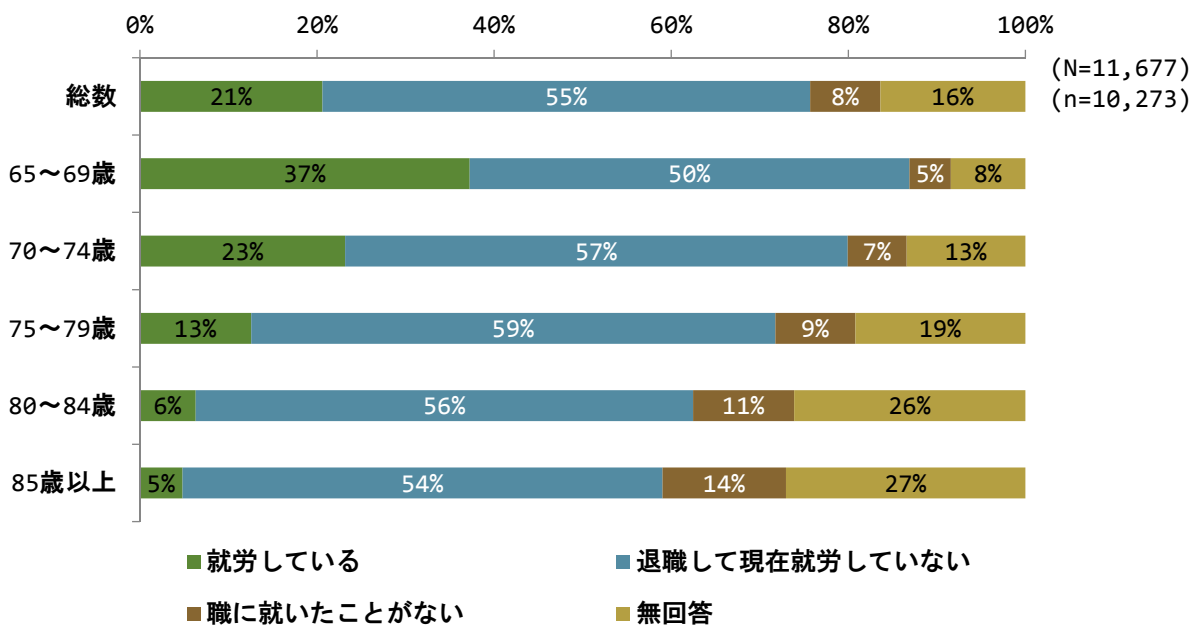
貯蓄額1,000万円以上の世帯の割合は、世帯収入100万円未満では19%、200万円以上では半数以上となっている。



4

# 就労状況

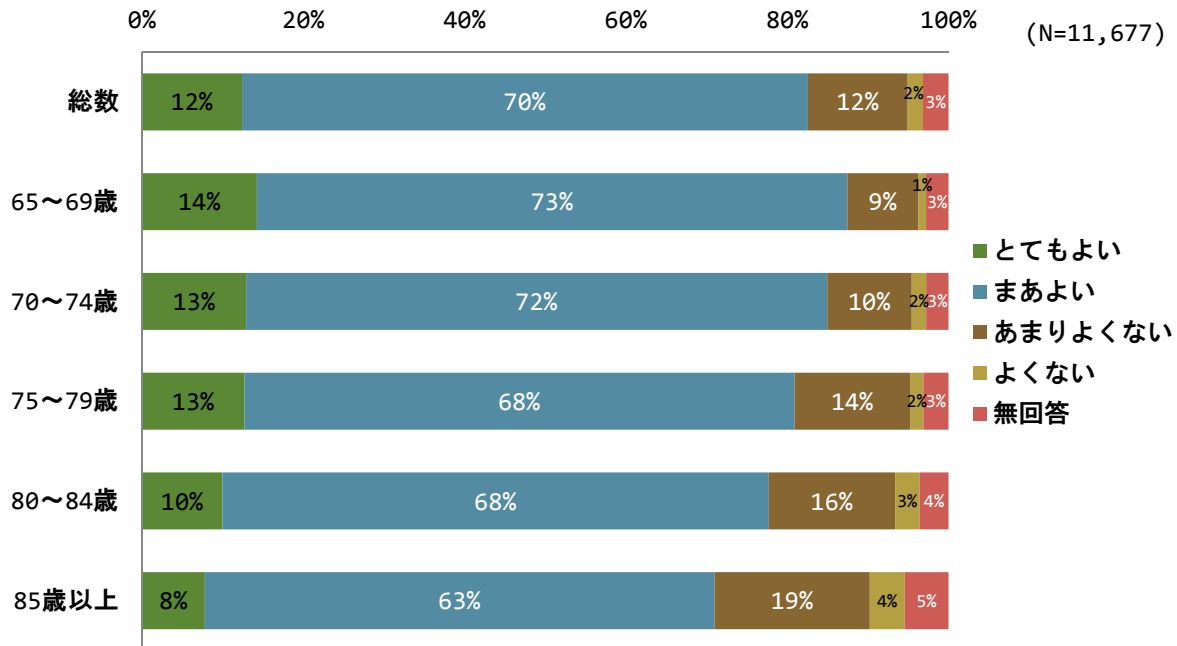
65~69歳では37%、70~74歳では23%の方が就労している。



5

# 健康状況

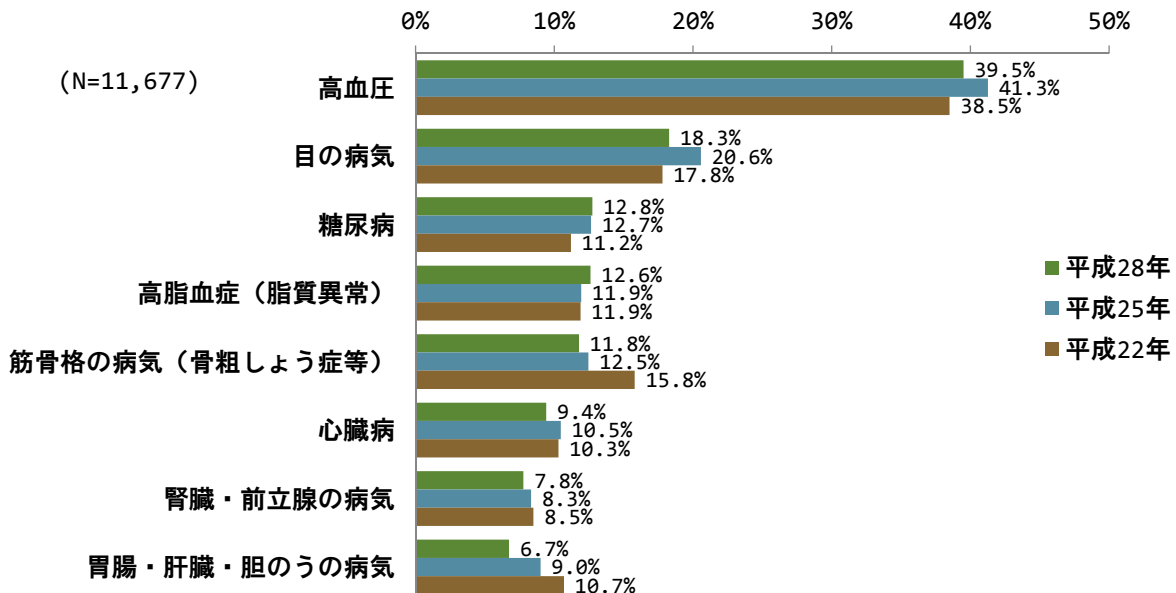
健康状態が「とてもよい」「まあよい」と回答した方は合わせて約8割となっている。  
 年齢別にみると、「85歳以上」では、「とてもよい」「まあよい」と回答した方は合わせて約71%、「あまりよくない」「よくない」と回答した方は合わせて23%となっている。



6

# 罹患の状況

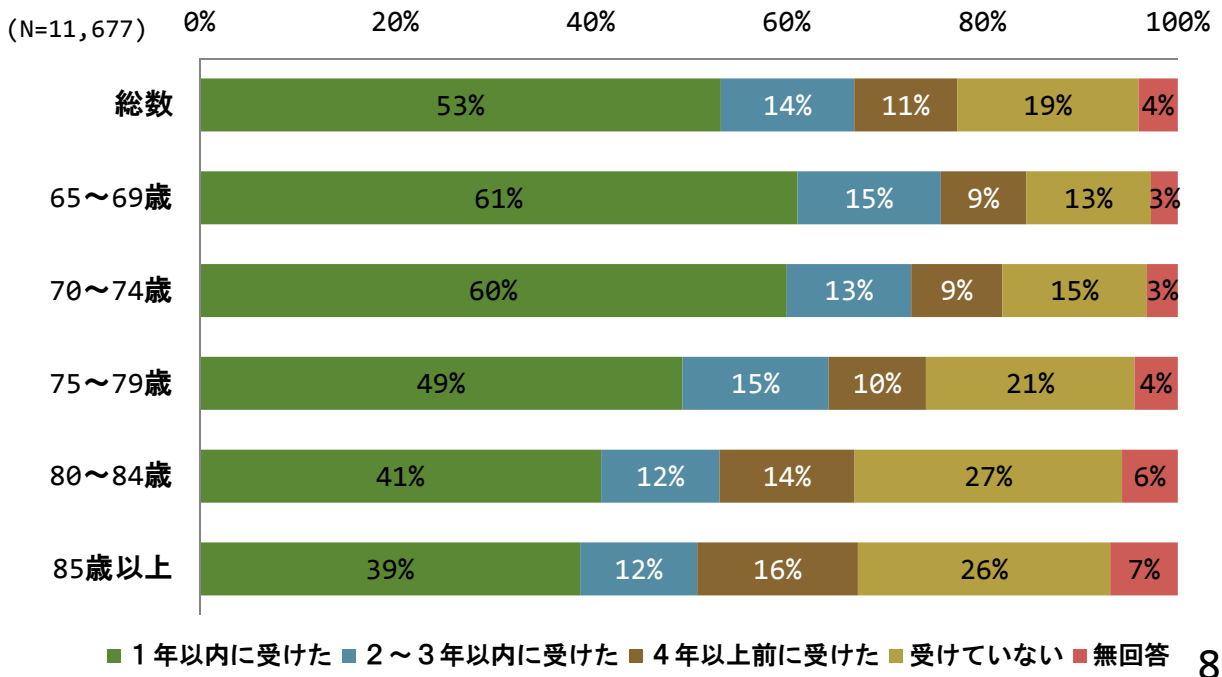
「高血圧」が39.5%と最も多く、次いで「目の病気」18.3%、「糖尿病」12.8%、「高脂血症」12.6%、「筋骨格系の病気」11.8%の順に多くなっている



7

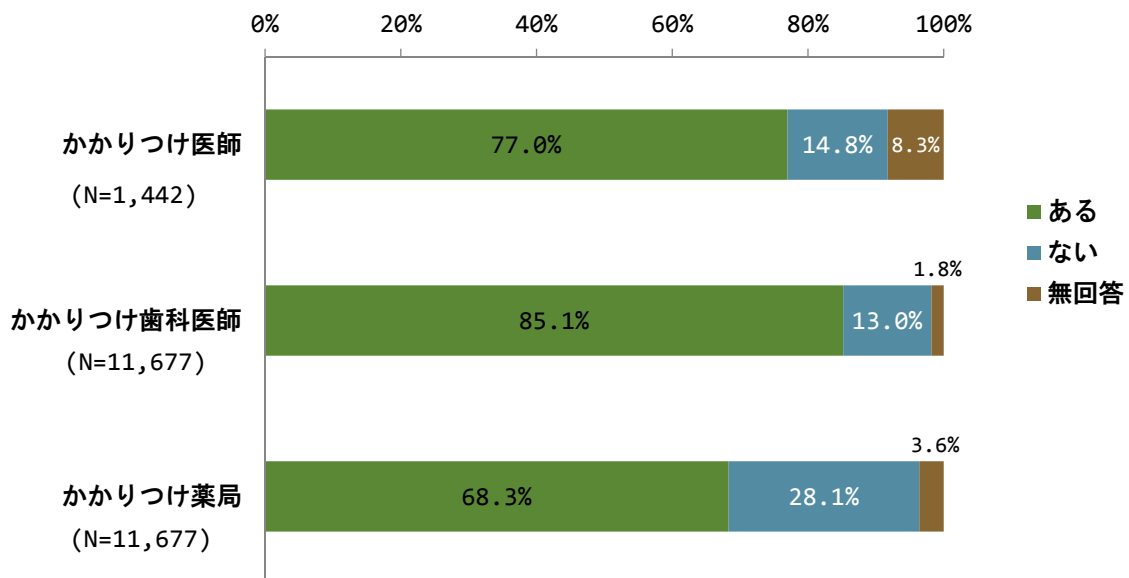
# 健診・人間ドッグの受診状況

65～74歳では約6割の方が1年以内に受診しているが、80歳以上では約4割となっている。また、80歳以上では約3割の方が「受けていない」と回答している。



# かかりつけ医師・歯科医師・薬局

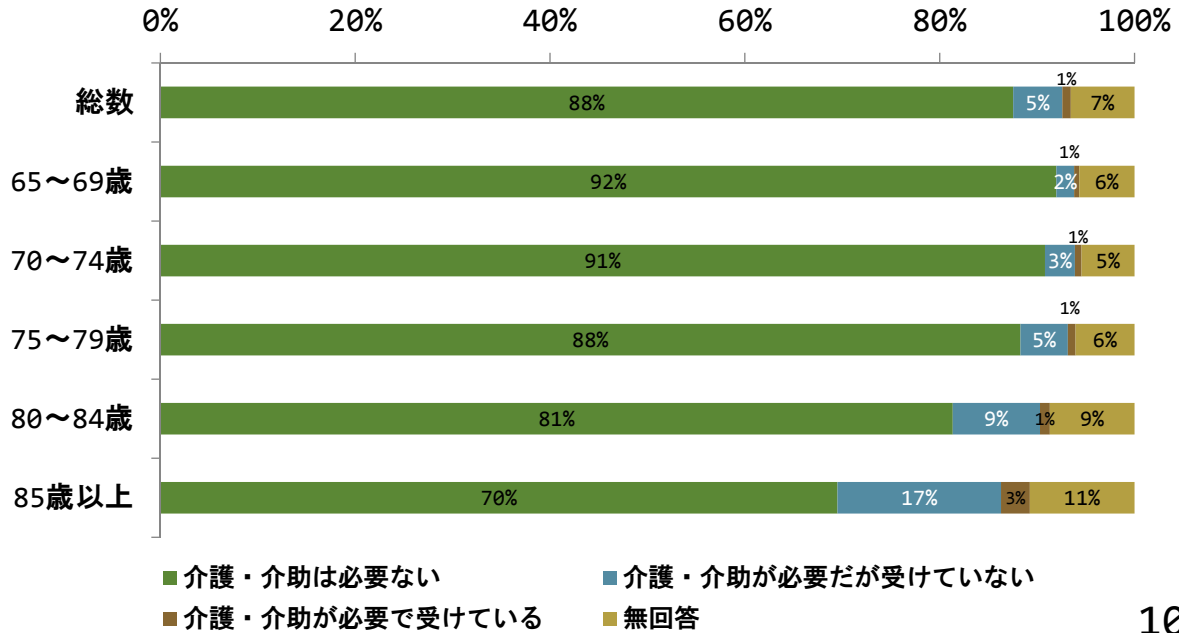
かかりつけ医師は77.0%、かかりつけ歯科医師は85.1%、かかりつけ薬局は68.3%の方が「ある」と回答している。



# 身体状況

約9割の方が「介護・介助は必要ない」と回答している。年齢別にみると、85歳以上の方の約2割が、介護・介助が必要と回答している。

(N=11,677)

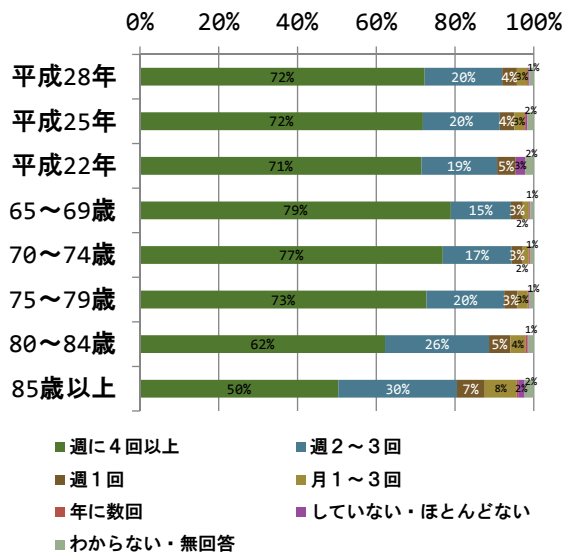


10

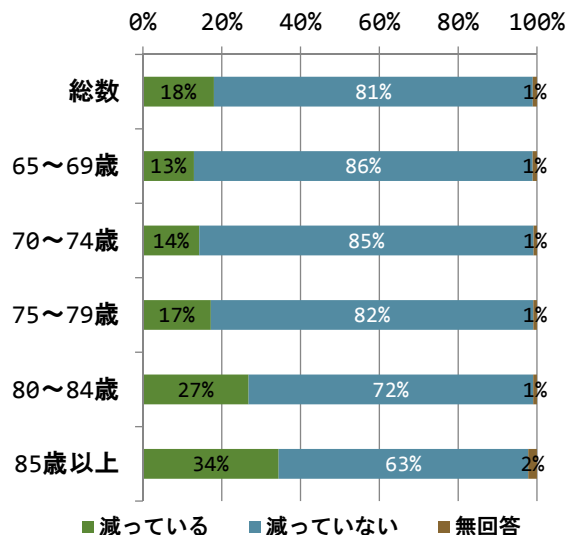
# 外出の頻度

「週4回以上」外出する方は、79歳までは7割を超えているが、80～84歳では約6割、85歳以上では約5割となっている。  
 昨年と比べて外出の頻度が減っているかどうかたずねたところ、「減っている」が18%、「減っていない」が81%となっている。

■ あなたが外出する頻度はどのくらいですか (N=11,677)



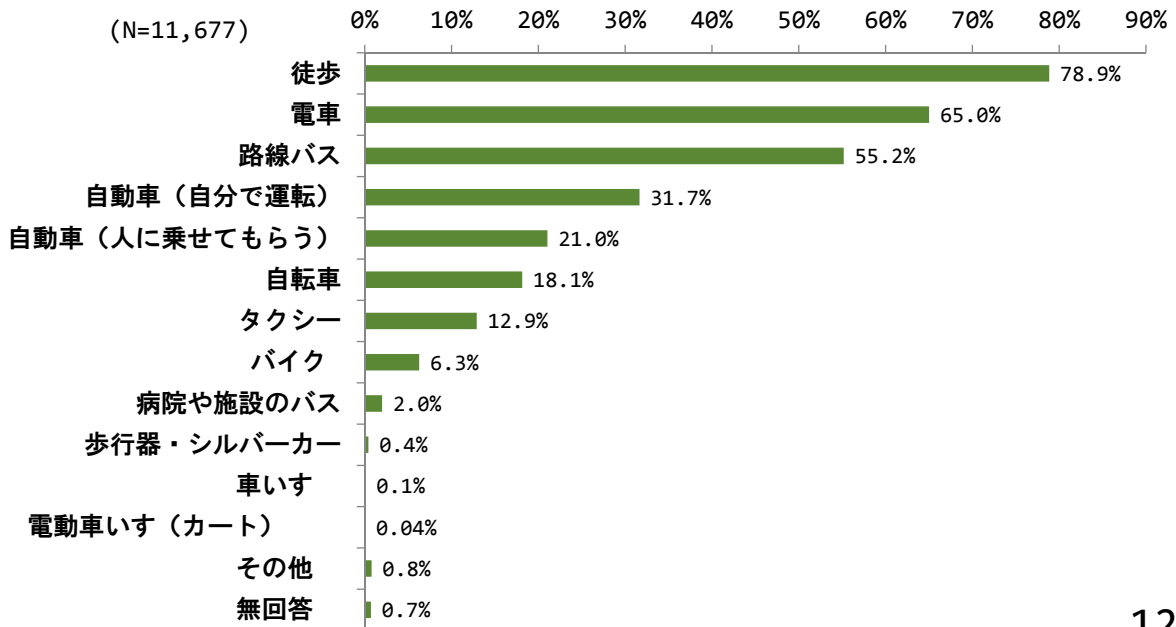
■ 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。 (N=11,677)



11

# 外出時の交通手段

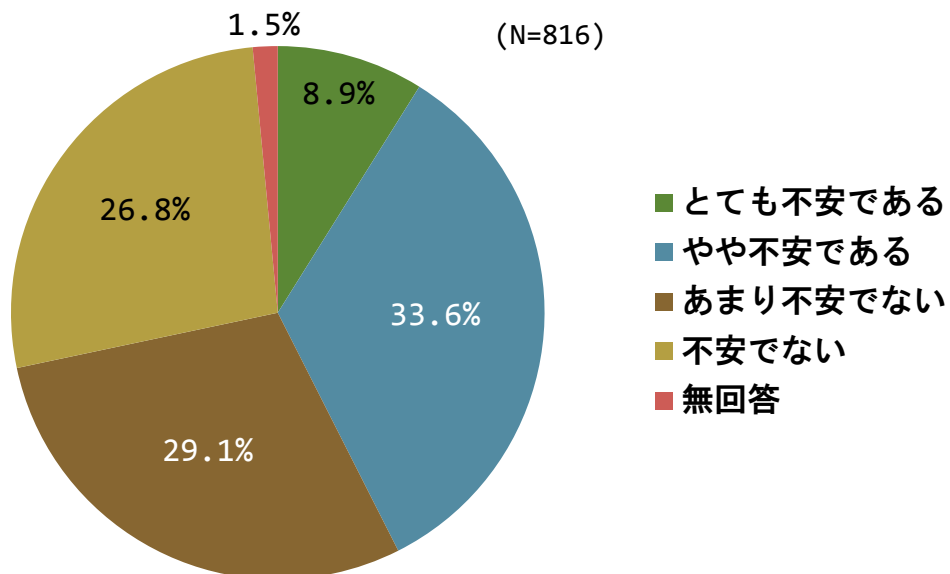
外出時の交通手段は、「徒歩」78.9%、「電車」65.0%、「路線バス」55.2%の順で多くっており、公共交通機関の利用が多い。次いで「自動車(自分で運転)」31.7%となっている。



12

# 転倒に対する不安

「とても不安である」「やや不安である」を合わせた約4割の方が転倒に対して不安を持っている。

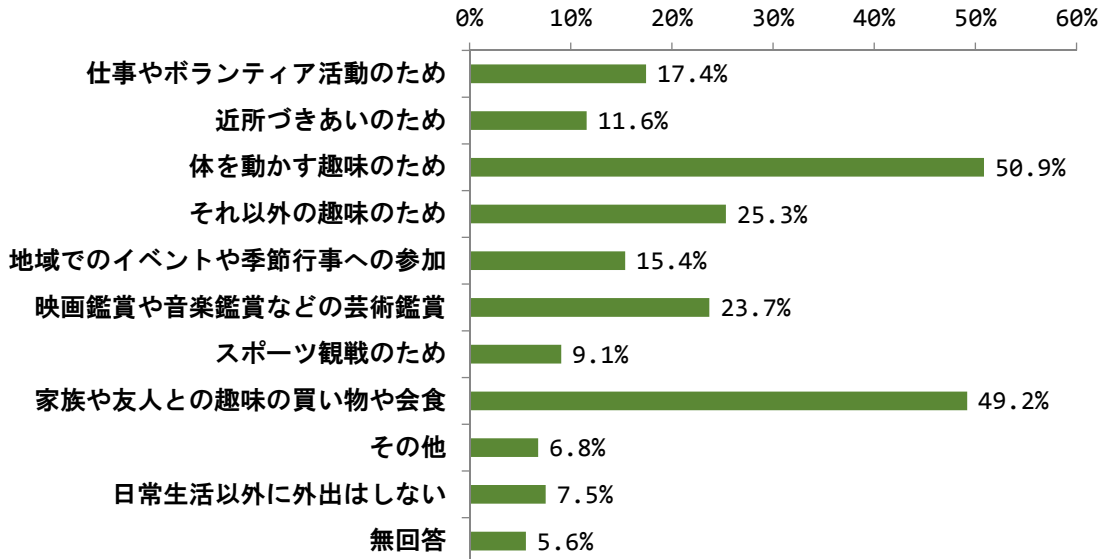


13

# 外出の主な目的

日常生活(買い物、通院など)を除く外出目的をたずねたところ、「体を動かす趣味のため」50.9%、「家族や友人との買い物や会食」49.2%、「それ(体を動かす)以外の趣味のため」25.3%、「映画鑑賞や音楽鑑賞などの芸術鑑賞」23.7%の順に多くなっている。

(N=11,677)

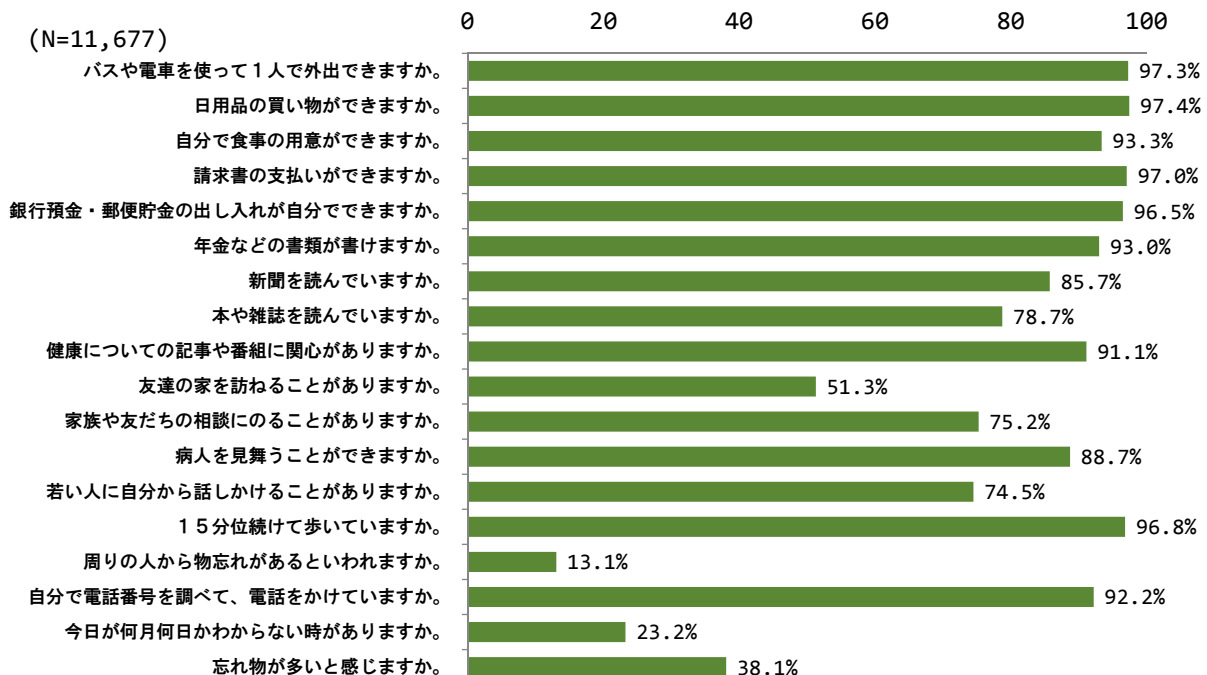


14

# 日常生活について

「友達の家を訪ねることがありますか。」について、「ある」と回答した方は51.3%となっている。

(N=11,677)

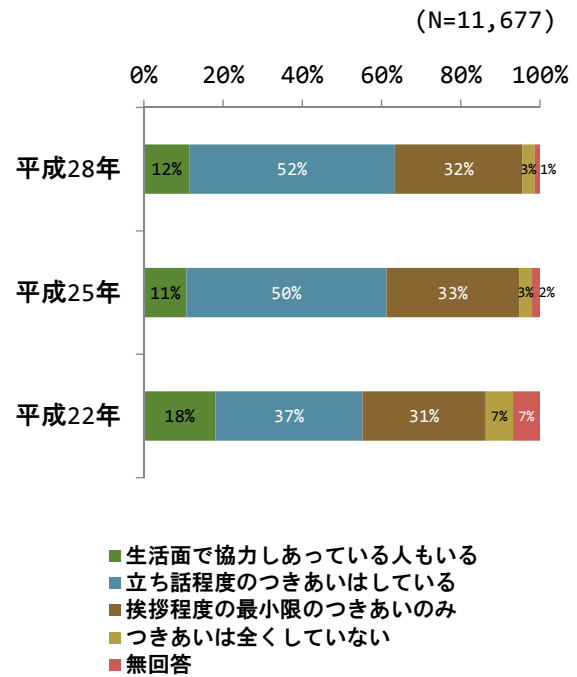
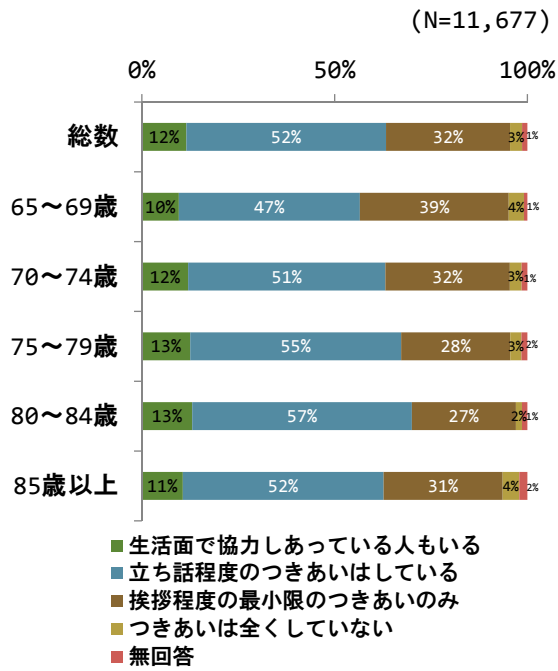


15



# 近所づきあい

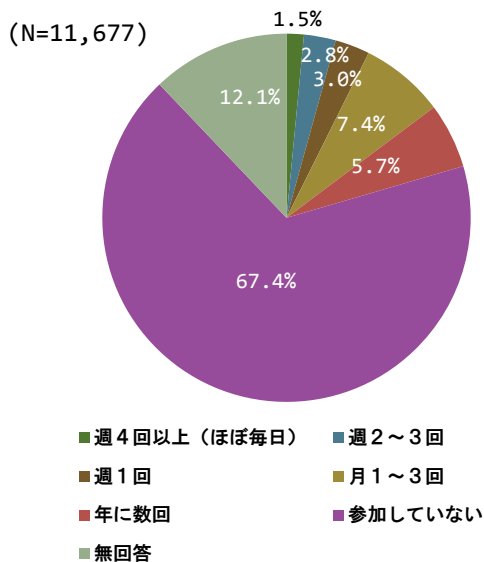
65～69歳では「挨拶程度の最小限のつきあいのみ」と回答した方の割合(39%)が、他の年代よりも高くなっている。前回調査との比較では、概ね同じ結果となっている。



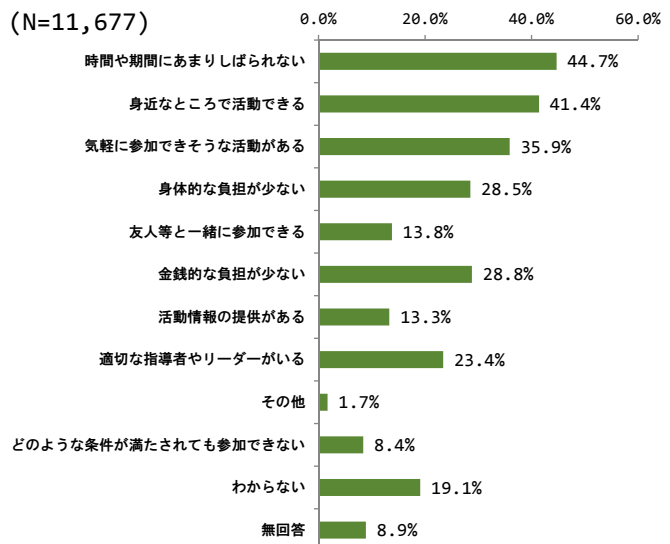
# ボランティア参加頻度・条件

約2割の方が、ボランティアグループに参加しているが、約7割の方は「参加していない」と回答している。ボランティアに参加したり今以上に参加するための条件をたずねたところ、「時間や期間にあまりしぼられないこと」が44.7%と最も多く、次いで「身近なところで活動できる」41.4%、「気軽に参加できそうな活動がある」35.9%が多くなっている。

ボランティアグループへの参加頻度

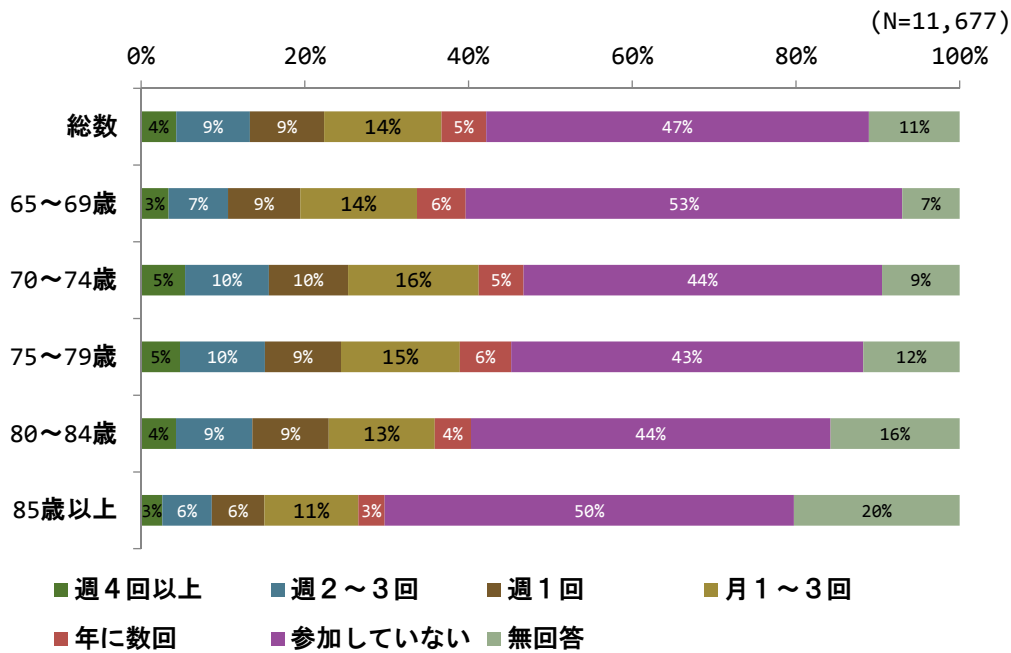


ボランティア活動への参加条件



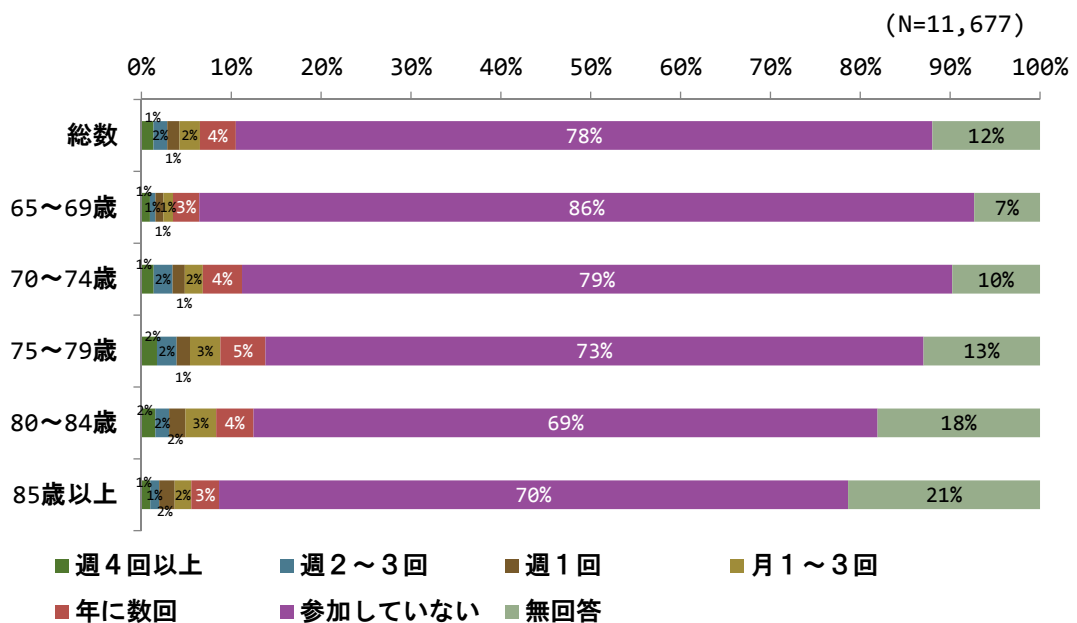
# 趣味関係のグループの参加

約4割の方が趣味関係のグループに参加している。



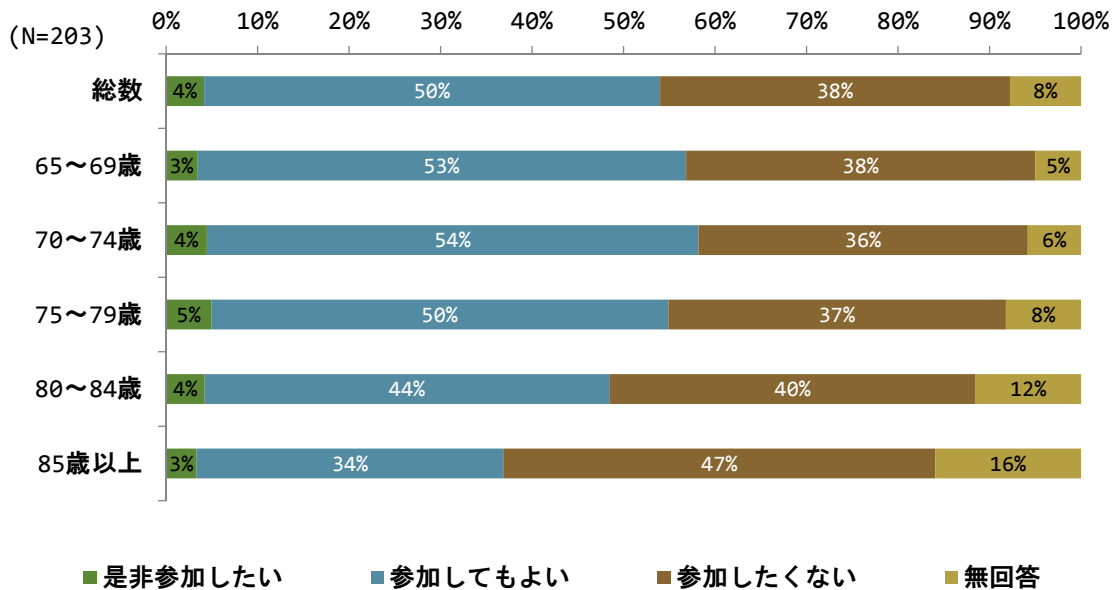
# 介護予防・健康づくり活動への参加

介護予防・健康づくり活動へ「参加していない」が約8割となっている。



## 地域住民によるグループ活動への参加希望

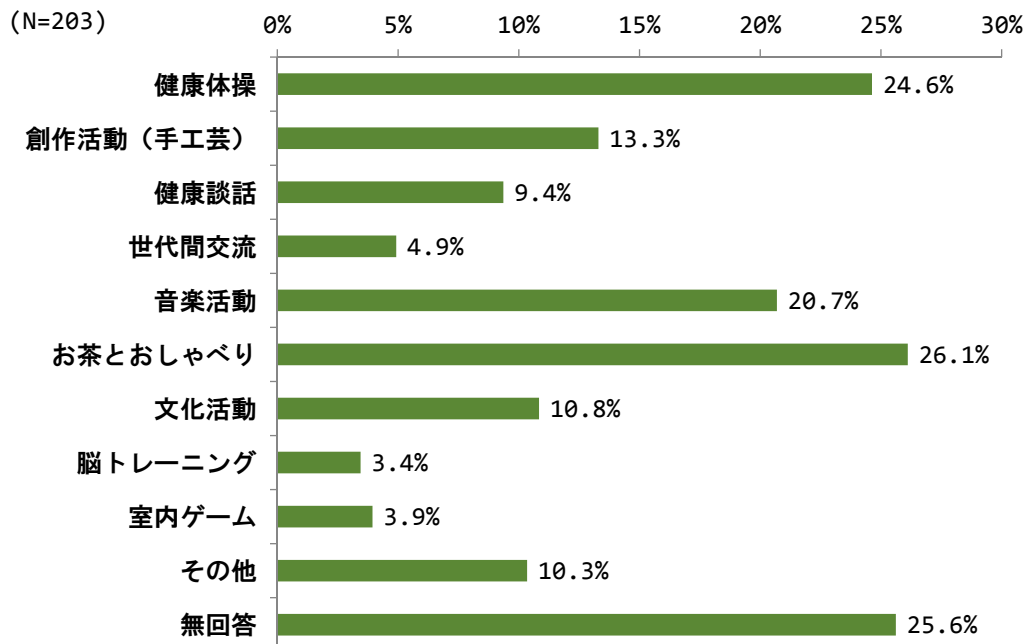
地域住民の有志による健康づくりや趣味等の活動等のグループ活動へ参加したいと思うかたずねたところ、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせて54%となっている。



20

## サロン活動の参加プログラム

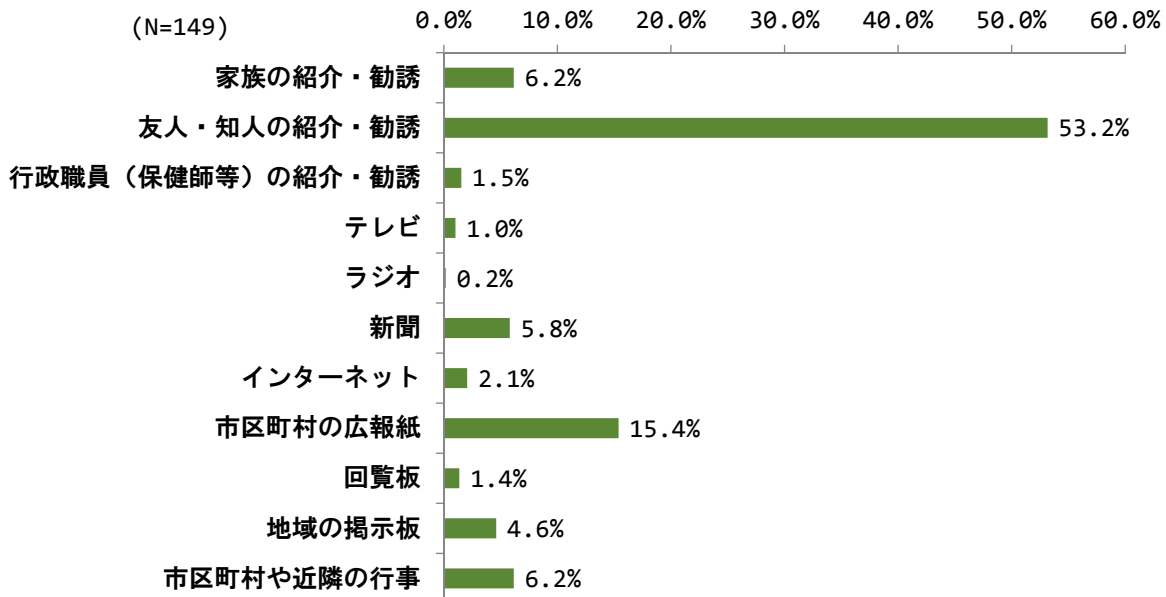
サロン活動で参加頻度が高いプログラムをたずねたところ、「お茶とおしゃべり」が最も多く26.1%、次いで「健康体操」24.6%、音楽活動20.7%となっている。（※3つまで回答可）



21

# 趣味グループに入ったきっかけ

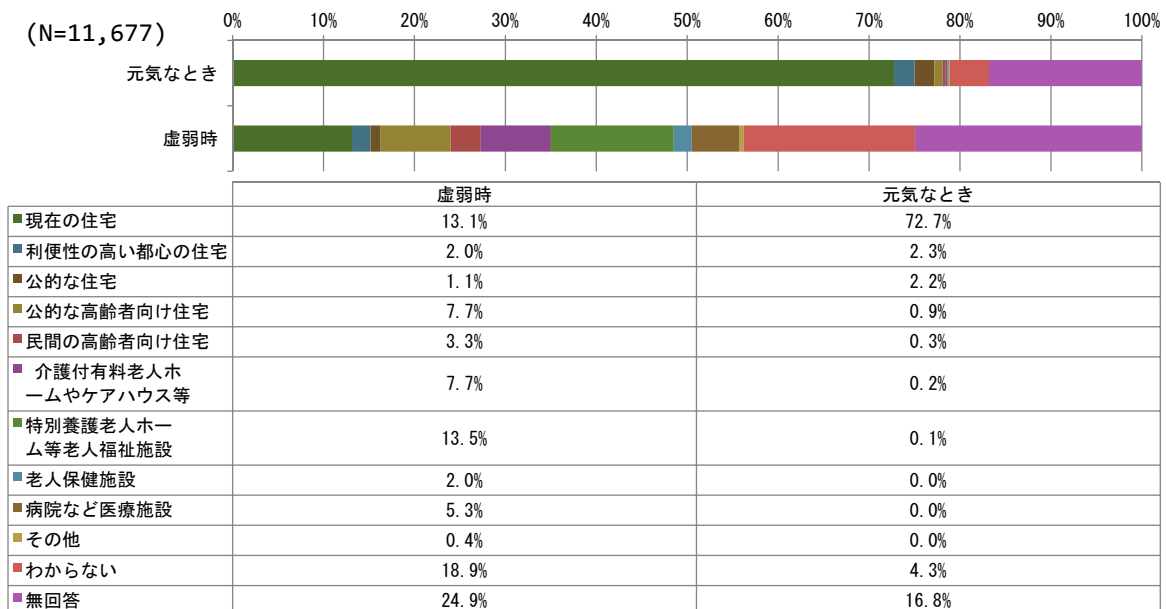
趣味関係のグループに入ったきっかけは、「友人・知人の紹介・勧誘」が53.2%と最も多くなっており、次いで「市区町村の広報紙」15.4%、「家族の紹介・勧誘」・「市区町村や近隣の行事」6.2%が多くなっている。



22

# 住まいの希望

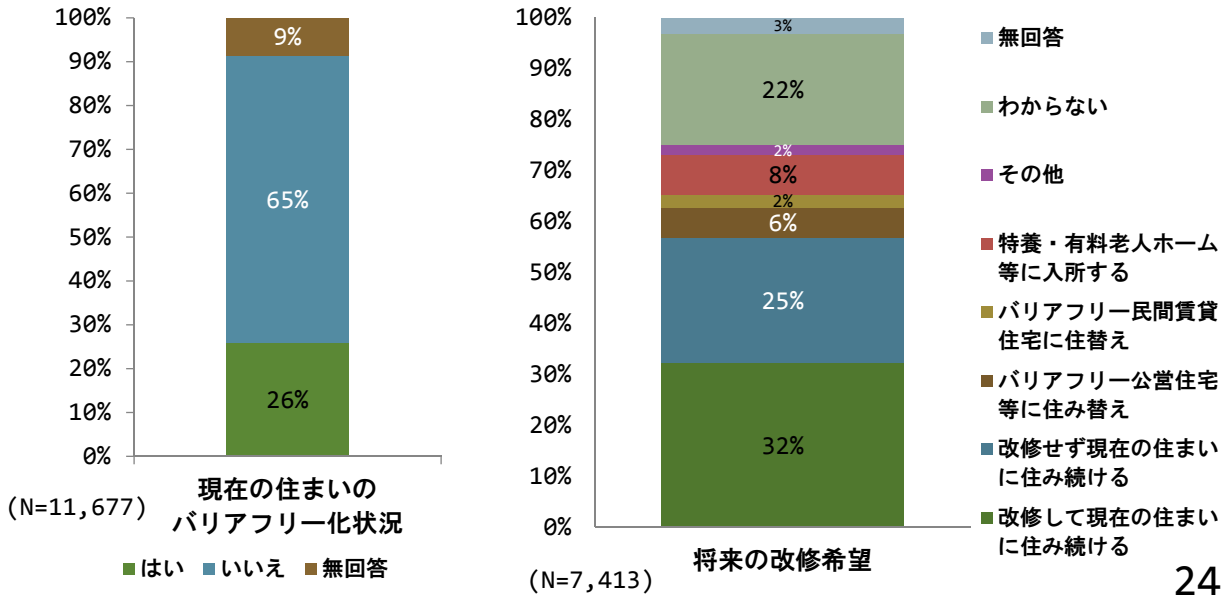
「お元気なとき」は「現在の住宅」が72.7%と特に高い割合となっている。「身体が虚弱化したときなど介護が必要となった場合」は、「現在の自宅」は13.1%まで減少し、「特別養護老人ホーム等老人福祉施設」が13.4ポイント、「公的な高齢者向け住宅」・「介護付き有料老人ホームやケアハウス等」が7.5ポイント増加している。



23

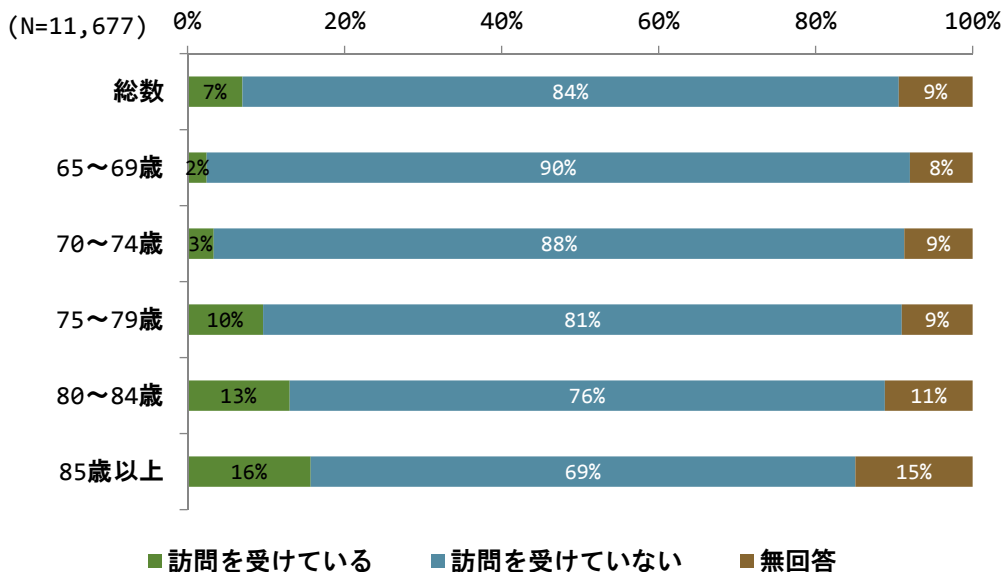
# 住まいのバリアフリー化

現在の住まいのバリアフリー化は十分かどうかについて、「はい」が26%、「いいえ」が65%となっている。「いいえ」と回答した方に、今後、体の機能が落ちてくるなどしてきた場合、どのようにしたいかたずねたところ、「改修して現在の住宅に住み続ける」が最も多く32%、次いで「改修せず現在の住まいに住み続ける」が25%となっており、合わせて約6割の方が現在の住まいに住み続けるとしている。



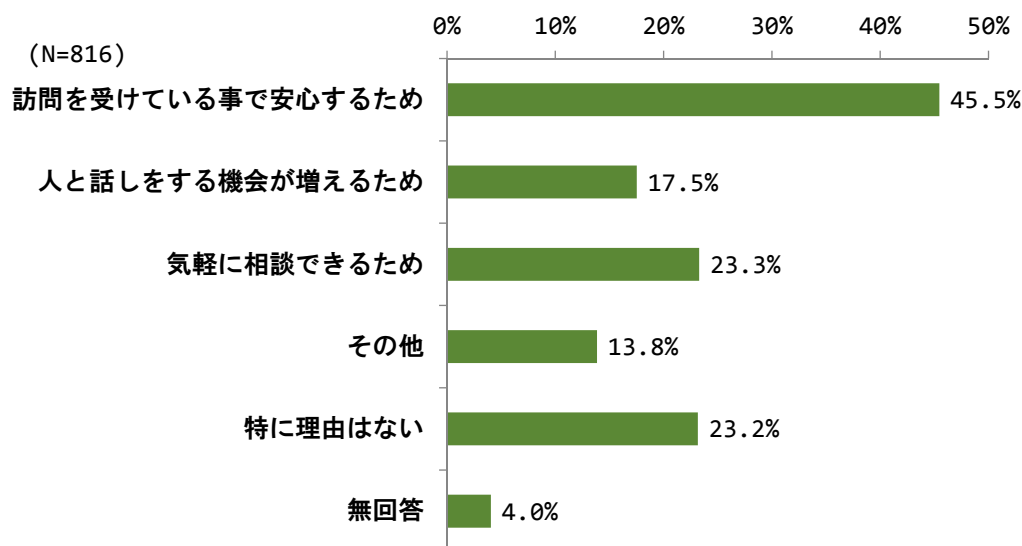
# 民生委員の訪問

民生委員の訪問について、7%の方が訪問を受けていると回答している。年齢別にみると、「75～79歳」は10%、「80～84歳」は13%、「85歳以上」は16%が訪問を受けていると回答している。



## 民生委員の訪問を受けている理由

民生委員の訪問を受けていると回答した方にその理由をたずねたところ、「訪問を受けていることで安心するため」が45.5%と最も多く、次いで「気軽に相談できるため」・「特に理由はない」23.3%、「人と話をする機会が増えるため」17.5%の順となっている。

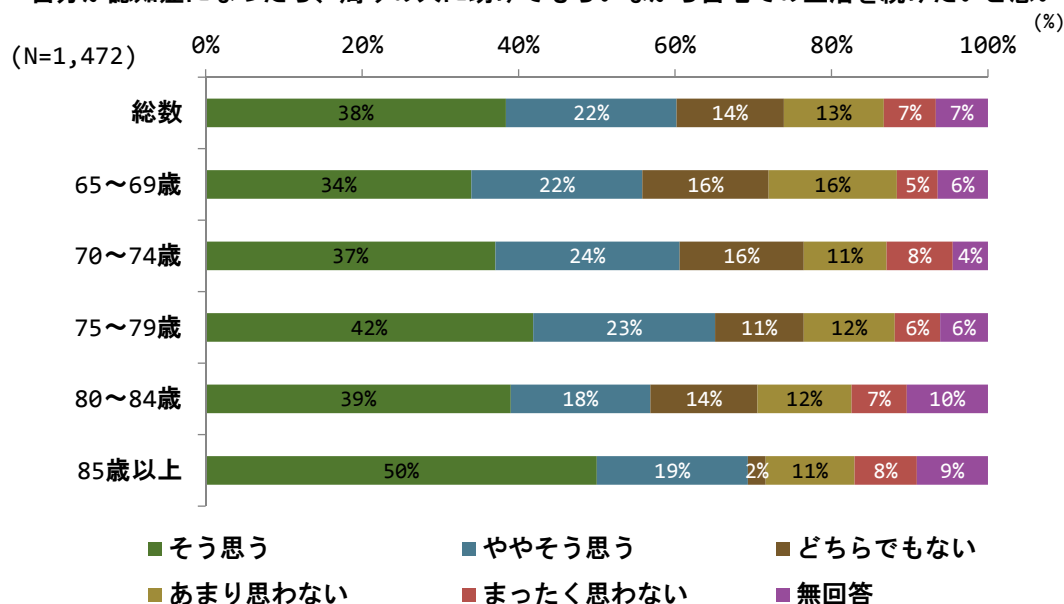


26

## 認知症と在宅介護の希望

自分が認知症になったら、周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたいと思うかどうかたずねたところ、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて約6割となっている。一方、「あまり思わない」「まったく思わない」は合わせて約2割となっている。

- 自分が認知症になったら、周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。

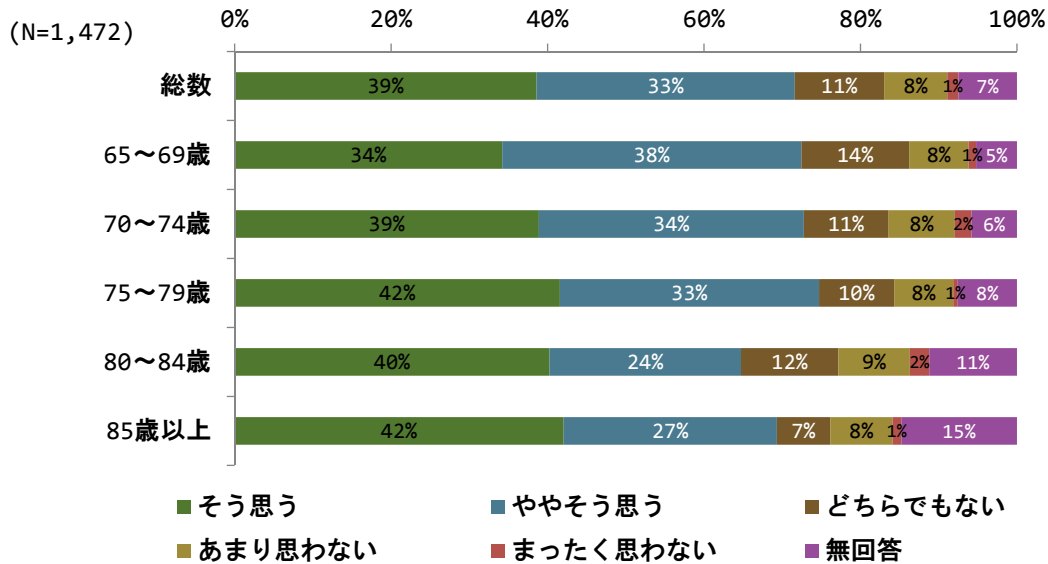


27

# 認知症と周囲の協力

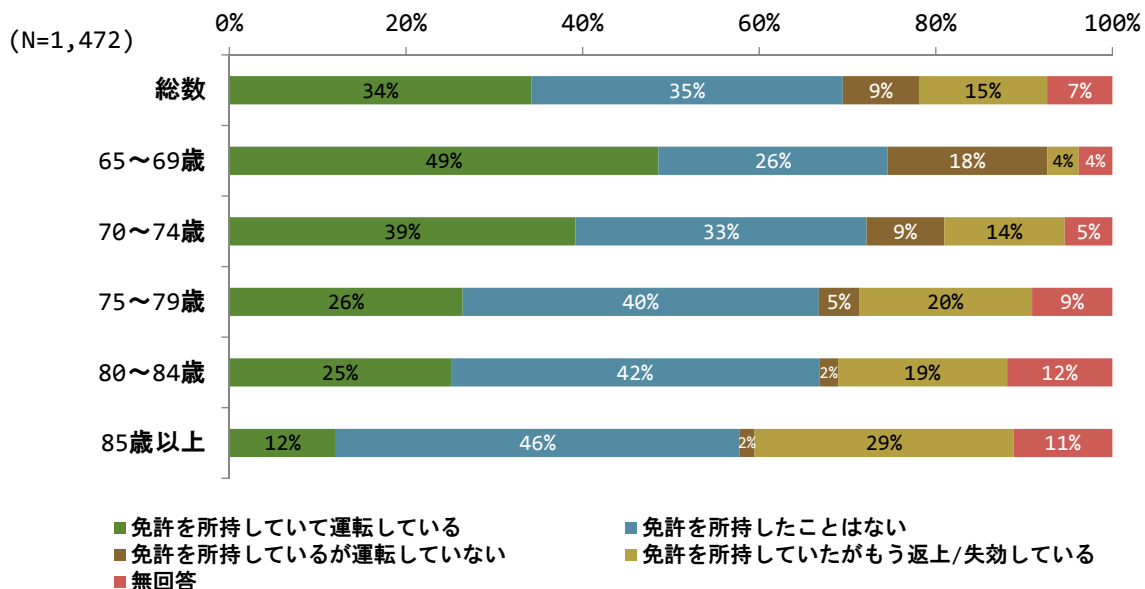
家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいかどうかたずねたところ、「そう思う」「ややそう思う」は合わせて約7割となっている。一方、「あまり思わない」「全く思わない」は合わせて約1割となっている。

- 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。



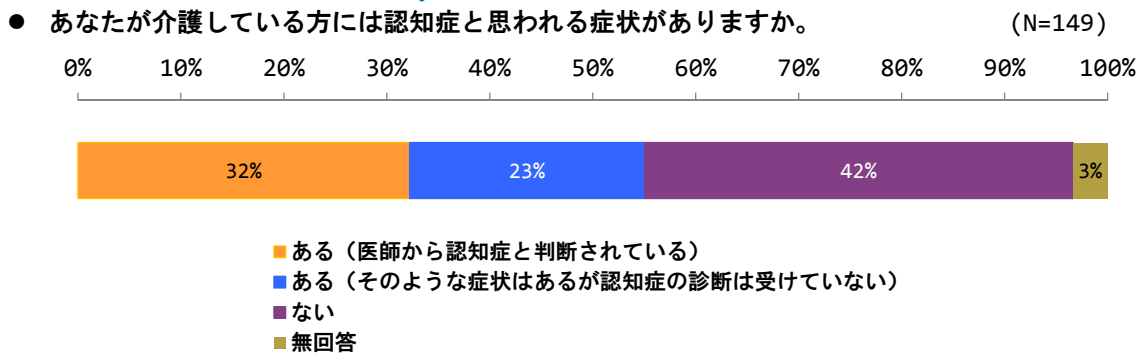
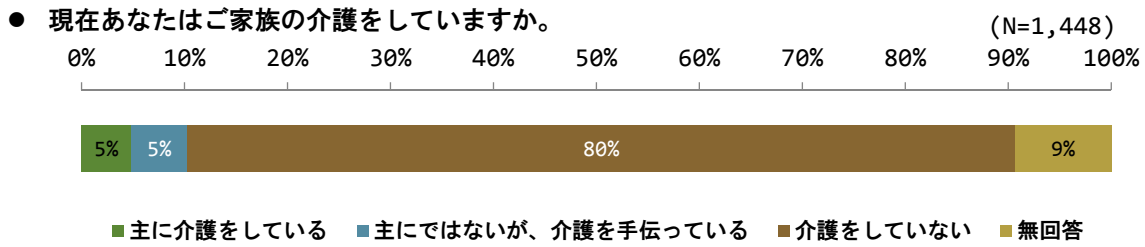
# 運転免許の所持と自家用車の運転

「免許を所持していて運転している」方は、65～69歳では49%、70～74歳では39%、75～79歳では26%、80～84歳では25%、85歳以上では12%となっている。  
 「免許を所持しているが運転していない」「免許を返上/失効した」を合わせた割合は、65歳～84歳では21%～25%となっているが、85歳以上になると31%（うち「返上/失効」が29%）となっている。



# 家族の介護

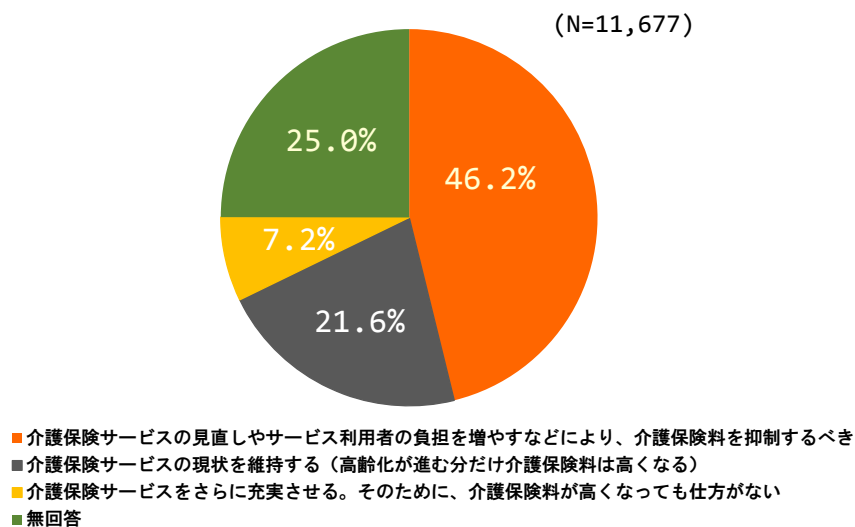
「主に介護をしている」「主にはないが、介護を手伝っている」を合わせた約1割の方が家族の介護をしていると回答しており、介護を受けている方に認知症と思われる症状があるかどうかをたずねたところ、「ある」と回答した方が55%となっている。



30

# 介護保険料とサービスの考え方

今後の介護保険料について最も近い考えをたずねたところ、「介護保険サービスの内容の見直しやサービスを利用した人の負担を増やすことなどにより、介護保険料を抑制するべき」が46.2%と最も多く、次いで「介護保険サービスの現状を維持する」21.6%、「介護保険サービスをさらに充実させる。それにより、介護保険料がより高くなっても仕方がない。」7.2%の順となっている。なお、無回答は25%となっている。



31